ホクコーパンチャー®フロアブル

■種 類 名：フェントラザミド・ベンゾフェナップ・ベンフレセート水和剤
■有効成分：フェントラザミド---------- 6.0%
ベンゾフェナップ---------- 16.0%
ベンフレセート ---------- 10.0%
■PRTR法指定物質：フェントラザミド[第１種]---------- 6.0%
ベンゾフェナップ[第２種] ---------- 16.0%

■登録番号：第22076号
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：2007.12.26
■性　　状：類白色水和性粘稠懸濁液体
■有効年限：２年
■包　　装：500ml×20本、2ﾘｯﾄﾙ x 6缶

【特長】
- ノビエ２．５葉期までの処理で各種雑草に安定した効果を発揮する一発処理除草剤。
- 難防除雑草のオモダカ、クログワイに高い効果を発揮する。
- ＳＵ抵抗性雑草に高い効果を示す。

【適用内容】(2015 年 10 月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草　及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ヒルムシロ、ミズガヤツリ(北海道を除く) ヘラオモダカ(北海道、東北) オモダカ(北陸を除く) クログワイ(北海道を除く) エゾノサヤヌカグサ(北海道) アオミドロ･藻類による表層はく離 (関東・東山・東海、近畿・中国・四国)	移植後５日～ノビⅠ2.5 葉期 但し、移植後３０日まで	砂壌土～埴土	500ml/10a	１回	原液湛水散布	全域の普通期及び早期栽培地帯

ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞを含む農薬の総使用回数	ﾍﾞﾝｿﾞﾌｪﾅｯﾌﾟを含む農薬の総使用回数	ﾍﾞﾝﾌﾚｾｰﾄを含む農薬の総使用回数
１回	２回以内	２回以内

【効果・薬害等の注意】
- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 使用前によく振ってから使用すること。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの２．５葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、エゾノサヤヌカグサは２葉期まで、ウリカワは２葉期まで（北海道、東北、北陸は発生始期まで）、ヒルムシロは発生期まで、オモダカ、クログワイは発生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。オモダカ、クログワイは発生の期間が長く､遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合があるので､必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。
- 散布に当たっては水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布すること。
- 本剤散布後、少なくとも 3～4 日間は通常の湛水状態(水深３～５cm 程度)を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意すること。また、散布後７日間は落水、かけ流しをしないこと。自然減水により田面の一部が露出する間際になったら、水尻は止めたままにし、通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じること。
- 苗の植え付けが均一となるように、整地や代かきはていねいに行うこと。未熟有機物を施用した場合には特にていねいに行うこと。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用を避けること。
  - ◆ 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深 2cm/日以上）
  - ◆ 軟弱な苗を移植した水田　　◆ 極端な浅植の水田
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないこと。
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、効果不足の恐れがあるので使用を避けること。
- 本剤は移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用すること。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。
- 散布器、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理すること。また、使用した機器等は水稲用薬剤以外に使用しないこと。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】
- 誤飲などのないように注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
  作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- 魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
  水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。散布後は水管理に注意すること。
  散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 保管：直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。

北興化学工業株式会社